崎元幹

現 に我々が學校を出 た蓄初などは直接 た蓄初などは直接 がつた、何故かとい

からは以前と違って社會秩 をは以前と違って社會秩 のるやうに思けれるけて でだん くそれ

要するに青年の指導につい象者にした方がよいと思い。又後輩としても成

指導、矢

いかといふ気が本書で 長い本を讀むやうに 長い本を讀むやうに といる気が本書で

日九十二 月 六

所

. .

图 6 7

智慧 龙军 全击 衛星

don

覇權

專 欒

皇帝陛下御滯京第

機しく御交離あらせられる 地宮各殿下にも御臨席あらせられて 皇太后陛下御催 しの午餐會に臨ませられ雨 しの午餐會に臨ませられ雨 との午餐會に臨ませられ雨

日比谷公園に感銘深き式典 虚中上げることとなってる 地谷公園に開かれた率迎式 地谷公園に開かれた率迎式 地方公園に開かれた率迎式 が、二十九日総も濃い日 めた御歓迎の唯一の顯現と

の であった、公園東入口に設 対られた線のアーチには日 対られた線のアーチには日 がかにはためく午後一時州 を分茶色の圏服に意氣爽かな

民間の奉迎行事は悉く御遠と、紀元二千六百年御慶説と、紀元二千六百年御慶説と、湘州國の親交領権立を御目的に御來訪遊された。皇帝の神意に副ひ奉るため

大宮御所御護御歸館遊ばさ 一會見は皇太后陛下の深き思 御宴終了後も更に御團鞭あ が、 いらせられて午後四時卅分頃 である

定期航空に

東京 (本) 本坂輝宮に向って敬虔な過 東京 (本) 東京 (本)

英佛向けの 英佛向けの 一英佛向けの で七月一日以降イギリス及で七月一日以降イギリス及びアランス向げ通常郵便物でアランス向げ通常郵便物でアランス向げ通常郵便物でアランス向け通常郵便物である浸達を停止する旨七月におる浸達を停止する旨七月を

國政一般に國し討議が行は の分局限されてゐたに反し の分局限されてゐたに反し の分局限されてゐたに反し

にをりバルント記出

そック三國

察を試みたが、フランスの將來について一應の老

ス考洲

つと言ふことになつた、
支配は英獨職の結果に依

無

血進駐

形绘

命令を傳達した 重要諸都市を占領

議長ブオイブオデ氏を無任所相に、上院議長アルギエトイアヌ氏を外相として入閣せしめ擧國内閣を組織したルーマニア内閣は廿八百緊急國務會議を開催し協議の結果國内體別强化の爲一部内閣の改造斷行、新たに下院重 大 危 局 に 内閣改 造 (ブカレスト廿八日愛嫩通)ソ聯の電撃的要求に伴ふ重大難局に對處すべく

本杉浦 守次 郷氏 (開拓總 局) 二十九日來京國際ホテル (高) 二十九日來京國際ホテル (南) 同 (本) 同

守着

來

以内に右地區よ 1) 3.3 製通)南方海外漫展の重要性に鑑み拓務省が 製に新設を企圖した新局に 製に新設を企圖した新局に が、関議に附議することと な損害を賠償するルーマニア の支配がソ聯及びベッサ の支配がソ聯及びベッサ の支配がソ聯及びベッサ を賠償する手段で 拓 發國洲 南方海外灣

總領事の

るは、子グの 要に、一大学の のたり、一大学の のでもした。 でののに、 のでのよう。 をは、大大学の のでのでのよう。 が存立ののは、 が存立のは、 が存立のも、 のでのよう。 でのでのよう。 でのでのは、 がでのでのでのは、 がでのでのでのでのでは、 をは、 でのでのでのでのでは、 をは、 でのでのでのでのでは、 をは、 でのでのでのでのでは、 をは、 でのでのでのでのでのでは、 でのでのでのでのでは、 をでのでのでのできる。 でのでのでのでのでいる。 でのでのでのでいる。 でのでのでのでのでいる。 でのでのでのでいる。 でのでのでのでのでいる。 でのでのでのでいる。 でのでのでいる。 でのでいる。 でのでのでのでいる。 でのでいる。 でのでいる。 でのでいる。 でのでのでいる。 でのでいる。 でいる。 でい。 でいる。 で



理ら盛儀に感激

先輩に親し

できる来、来ど僕計算はその談場を指で て懸つよどいしはく係し密中とる様合 欲くとううと/ 電管だな接に云が係官 しと先とい常く業がけいに作ふ、とと いい輩しぶに僕社なでかすつ様今い、

のた論れ

献は精讀主義に

帝后御覽

訪日映畫

難してゐる、而も社會秩序 皆ほど單純でなく非常に複 皆ほど單純でなく非常に複

なるのが、今日ほど深く も腹くもなかつたと思はれる。殊に當時の満洲に といる感じが多いか感じが多いか感じが多いか感じが多いがある。

注意しなければならぬこと り先輩が後輩を導くために り先輩が後輩を導くために りた輩が後輩を導くために

は宣昌野学〇〇山上廿九日 一省東南部江岸より長江の 市省東南部江岸より長江の 市省東南部江岸より長江の 市省東南部江岸より長江の 市が近郊を敢行、同四時十 が猛烈なる敵の反撃にも拘 りで済んど無血液河を完了

を占領したのち逐次戦果を を斷行したが、時局の要請應するため行政機構の改革の所は囊に行經薪段階に即 撃により完全に破碎されつ 會議務科長

宜昌奪回敵企圖を撃碎==

(日 曜 日)

れ、敵の抗酸組織は中身 電響なる第五、第九戦區 重要なる第五、第九戦區 の連絡は完全に至つても で重慶側にとつても でで重慶側にとつても である第五、第九戦區

一團金に

般に關し中央地方官に隔一二、三の三日間にわたり國一開の運營、國兵法等の國政 務科長會議は來る七月一、「基く刻下の重要問題たる」 意なき意見交換を行ふ行政

月一日から 航第一番機には李瀬 北により七 八時四十分率大を援 社により七 八時四十分率大を援 社により七 八時四十分率大を援

七月

日處女航交職

ない

敵前渡河

英佛の接蔣敵

に変して、 になるでは、 はまする接所物資輸送路は よりする接所物資輸送路は よりする接所物資輸送路は よりする接所物資輸送路は よりする接所物資輸送路は

室ろ今後の現地情勢に一大 脚心を有し英伸側今後の接 脚的行為を厳重監視すると ともにその程度如何によつ ともにその程度如何によつ

用支軍嚴重に監 カー賞せる方針が充分拠取され、一覧せる方針が充分拠取されら各地の日夜の緊張振りにも軍の一日夜の緊張振りにも軍の一線將士の一段を関境線を固める第一線將士の一段を開発してある。

如何にあり現地語 多複準微妙なる場 を見るいではない。 と原とのの態度

面の科學的研究機關として この科學的研究機關の物的方 の科学で満洲國の物的方 **厚生科學院**

創

設

多過ぎる、所謂文献が多過でいたりしてもの」選擇なんかも、 したもの」選擇なんかも、 た輩、指導者は除程注意してやうに、どうも今の青年は が、而もその本といふもの が、而もその本といふもの が、而もその本といふもの が、而もその本といふもの おられてみない嫌ひがある たりしてるないと思はれる 本本学院の一大文学

「他に大陸科學院があるが」を設置すべき方策につき意力して表、食、住の方面に科生店を表、食、住の三方よりして表、食、住の方面に科生店を表、食、住の三方より、して表、食、住の方面に科生店を表、食、住の三方より、して表、食、住の方面に科生店を表、食、住の三方より、して表、食、住の方面に関しき強力なる綜合的生活科學院、な、政府ではこの點に関しき強力なる綜合的生活科學院、な、政府ではこの點に関しき強力なる綜合的生活科學院、な、政府ではこの點に関しき強力なる綜合的生活科學院、な、政府ではこの點に関しき強力なる綜合的生活科學院、な、政府ではこの點に関しき強力なる綜合的研究機関と創設することに決定した。

切したかり

からには次は實行せ

いふ點でいかなる抱負を持いる點でいかなる抱負を持

寧安縣下に

石炭富礦發見

のユーモア

緊張振りに比ぶべくもな これいらが英國 た機場の日に成

高の成るは成るの日本で決せず、戦ひまな場

三問題に對する市民

の總意

〇二)重要物資の配給についてはこれが徹底化と共に 前米運動を叫び混食榮養食 の研究實行を强調す (三)中小商工業者保護に 動して先づ融資申込みの緩 は犯人の檢學よりも業者の緩

剣に取扱つた、さらに 市民の切實な問題とし 市民の切實な問題とし

次の如く叫んである
マ住宅問題についで
(一) 簡易住宅を多數建築
すること住宅難問題の解決
は根本的恒久策と現下住宅
が多數建築を目指す外途がな
を應急住宅(簡易住宅)の
多数雑居する現状に比しな
まも音であっう

正を全面的に防止運用の完て經濟的自衛團を組織、不

つてこれがどう實現さであり議論の餘地なく

點があり市民の視聴 に集中されるもので

四月間に三五の組

上議案

◆整理統一したもので市民 と市各が會總計三十三分 を市各が會總計三十三分

来る七月十日國防會館に開幕向ふ 園子を選供する本年度首都聯合協議 園子を選供する本年度首都聯合協議 園子を選供する本年度首都聯合協議 園子を選供する本年度首都聯合協議 園子を選供を出まった。 一大大変大の如くであるが、これ等上程の重要諸問題を狙上に 別であるかをはつきり物語 か全事を行會器計三士三分 伊つて國民生活緊迫、着に對しては不安と 一体ので國民生活緊迫、着に對しては不安と 一体ので國民生活緊迫、着に對しては不安と 一体ので國民生活緊迫、着に對しては不安と 一体ので國民生活緊迫、着に對しては不安と 一体ので國民生活緊迫、 一本ので市民 一本のであるが、これが提案の理 一本ので、これが提案の理 一本ので、これが提案の 一本ので、、これが提案の 一本ので、これが提案の 一本ので、これが 一本ので、 一本ので、

(二) 経済統制機構に對しては経済統制機構の整備に で各省整門委員會をより機 が各省整門委員會をより機 が各省整門委員會をより機

▽住宅難問題に關

京)関東とは、 京)関東とは、 京)関東とは、 がらず」永田秀久郎本で、 一〇(東京)講演「未だ選 がらず」永田秀久郎本へ、 四五(東京)漢連節一妻」 市川海 東京)、 西五(東京) 関東歌

志建築及び大住宅

緩和に

緩和に關する件並に交通難

羊

毛自給

拓地便り

夏の飲物に特産風味で工夫

て保安警察の充實を聞ること保安警察の充實を聞ることし続員の保留分そのまゝとし続員の保

ある首繁人事も右によつり行き詰つたかの如き感事異動が強想され従来よ事異動が強想され従来よりだととなつこをり

て刷が選化をみるよ 大、人事の刷新等に 大、人事の刷新等に 大、人事の刷新等に に飛躍的なものとた でを であるよ

股

養務科に科附警正一名を置いて官房制を採り管下各署との事務上に敏速なる連絡 との事務上に敏速なる連絡 との事務上に敏速なる連絡 で國和衛生の完慶に一段と て國都衛生の完慶に一段と

ともいはれ永安屯、朝漢等の開拓 を市場に出してをり近ごろの砂ドを市場に出してをり近ごろの砂ドを市場に出してをり近ごろの砂ドを市場に出してをり近ごろの砂ドを市場に出してをり近ごろの砂ドを市場に出してをり近ごろの砂に変換があるものと盛息の候を迎へて一種のある。

聞

(日 曜 日)

司

七月一日は滿洲國司法記念日に當るので司法。必要の會」を開催遵法精神を强調、國演と映畫の會」を開催遵法精神を强調、國助を求めることになったが、なほ記念日に因んで張司法部大臣、國分刑事司長のラチオ講演が行はれる

盛んに「水倫」がつくられ であるため大變よろこばれ てゐる、また一方では惠ま れぬ開拓地の代用品として

り羊毛を紡いでスフ特のした例のホームスパンが

定試線を施行することにた に北月二十八日午前九時か ら新京大同公園内に於て軍 大候補資格檢査並に種大課 大候補資格檢査がに種大課

本として女子供に供給され 葡萄等を原料として生産され開拓地に於ける夏季飲料

ワ

ン

君の

適齢

法記念日

(=)

が想

0

戰

士

0)

献

金

月中の献金内澤を示せ係官を感激させてゐる

品として國内高女日滿小一七圓三十五錢と外に慰

死夏 前卵の 午餐 會に 拜す

に感激殊に日滿一體重大時局 かに、また米内首相に對して かに、また米内首相に對して 時艱御克服の御決

日本の見事在花や植木、官邸の装飾から、建築の御品本の見事在花や植木、官邸の装飾から、建築の御客でせら、等々くだけさせられたに對し、皇帝陛下には「小や海童だ」と仰せられたに對し、皇帝陛下には「小や海童だ」と仰せられた「一番でせう」等々くだけさせられた御歌談のうちに高番でせう」等々くだけさせられた御歌談のうちに高番でせう」等々くだけさせられた御歌談のうちに高番でせう。一番でせら、一番でせら、一番でせら、一番でせら、一番でせら、一番でせら、一番でせら、一番でせら、一番でせら、一番でせら、一番でせら、一番です」と御客へには「小や特量でせら」首相も「私は一升位はのみます」と御客へ申上げる、殿下には「いや特量でせら」首相も「私は一つ発展でせら」と仰せられたが高校宮殿下には「いや特量でせら」と明まして下されてあるのをみましたが感謝に基へません。何時も心から應へてをります。と仰せられたが高校宮殿下には「いや特量でせら」と仰せられたが高校宮殿下には「いや特量でせら」と仰せられたが高校宮殿下には「いや特量でせら」と側をしから原へてをります。

下されてあましたが、その熟誠に對しては默過することが出來ませんでした。 その旨の御物語りもあらせられ、米内首相に對してとの旨の御物語りもあらせられ、米内首相に對しても親しく御言葉を賜ひこの度は紀元二千六百年を壽ぎ皇室の天機ならびに御機嫌を伺ひ奉るために來訪した、日滿兩國はこの重大時局に如何に國際情勢が變化してもので、自分は溢洲において實際に實行して躬ら範を示してゐる。

大國務に當つてあるのを心强く思ふ自分は米内首相が非常に健康で大杯を傾けつい仰せられ更に

の艱難突破に深く御心を用ひさせ給ふを拜し只々恐懼申上げたのであつた一、極めて御輕快な御態度にて原田御用樹の御通譯により御歡談を賜り一同光榮、御席上における皇帝陛下と高松宮、閼院宮兩殿下との御安驩はいとも御和やを幸迎申上げる政府主催午餐曾は二十八日午後一時から永田町の官邸におい

と首相の顔を御覧あらせられつ」 と首相の顔を御覧あらせられつ」 と儀禮等を超越された異れ多い御姿で御言葉を賜ひ 首相は意よ恐懼、一入の感銘に打だれた模様で欣然 として 不肖は畏き 天皇陛下の大御心を拜して日滿兩國の緊密化を圖り相携へてこの難局に進みだい を常に首相が念頭にあるところを率直に奉祭中上げたのであつた、かくて御興は盡されることなく感宴を終つた



を警民一

蔣さんは鐵 泥の首魁

職員招聘

二」等を稱して耐村合して大いに獎勵されてあるて大いに獎勵されてある

劉駒刑事が取事動を怪しんだ

頭安大路四1四 六月二十九日午前中來社 業者歓迎△懇切指導△履 業者歓迎△懇切指導△履

爱佐命四

意藤事

三武務

の日明

被撃を見なる。 を開始した を開始した

兵庫縣人下乞

3.

でま時九間夜 8日 ″市たつ切ひ思

兵庫縣人會事務

沙

在新京兵庫縣人名簿を作りたいと思ひます貴下の原籍現住所職場へださい深刻なる住宅難は調査をした。 と同時に御一報ください名簿印刷と同時に御一報ください名簿印刷と同時に御一報ください名簿の別で、新京説町二丁目田中皇三方

女子從事員(內地人)若干 名





會合

はる 3

特にお薦めしたいのは

生魚即席料理の味

日開店

完成投しましたので明日から開店致します

ルの味

小屋敷の味

國都最初の

3 2 2 6 8

軍犬候補の資格檢査. 大阪神の音は所定の様式による。 大田の一のため、 大田の一のため、 大田の一のため、 大田の一のため、 大田の一のため、 大田の一のため、 大田の音は所定の様式による。 大田の音がある。 大田の一のため、 大田の一のため、 大田の一のため、 大田の音がある。 大田の一のでは、 大田のでは、 大田の

於兒玉公園競技場午後一次里衛介信/山寨光紀書山門新京特別市男女排第三中并自長指目滿年日滿年日滿年日滿年日滿年日滿年日滿年日滿年日,於完正公園競技場午後一次上海大會新京特別市男女排第三中并自長出來。

(六) 房産は官應會社の住民 (六) 房産は官應會社の住民 (六) 房産は官應會社の住民 (一) 交通會社の提供をも建築すること (一) 交通會社の機能擴充 か合理的に調整すること か合理的に調整すること (二) 出勤退應用の獨占的 ボス (航空會社、郵政管理局軍等) を (五)建築許可を簡易迅速



事務所迄御來談相成度 希望者は履歴書持参の上金泰 女店員募集

年齡十七歲より二十五歲迄

鍋c百 で 青陽ビル 魚料理 電三六八〇五

つかぎ

電の三四七九 大隆大和 一面の三四七九 大経路一〇八 大隆大和 一八一背廣各種が 東 買 買 號が

御希望の方は電(三)六七二七番へ 費われ度し 世見われ度し 変見家に

大經 路 正子 十 五 屋 一商

3 九 工事請 美 題 具、題 首 集 種 目 3 あ 御註文は

御家庭の製作

夏の 0 戶 苦

諸師を送つて奨励に努めて が公社でも相當力瘤を入れ

空瓶集めて

た一人の要し、

運轉手募集

丧 を 忘 3

九

灼 熱

の大同劇團公演

コント

謎

0

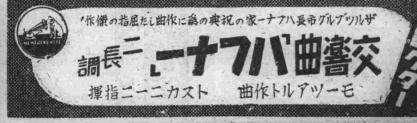


近く披露公演の運び



會を催す運びとなったが 同研究會は在京議職社員 同研究會は在京議職社員 で会會その他催のアトラク がコンとして出機され がコンとして出機され がコンとして出場するは

京の京都本は



笠高三水 智倉浦戶 光光 衆彰千子 高伏伏原田見見信 吉江子

明日躍は

半島の 二が朝鮮の第一流スター 新築地劇圏の名優薄田研 鮮融和の動語、貧しい子 と組んで描く美わしい内 人々の心の零

演共 子英日春



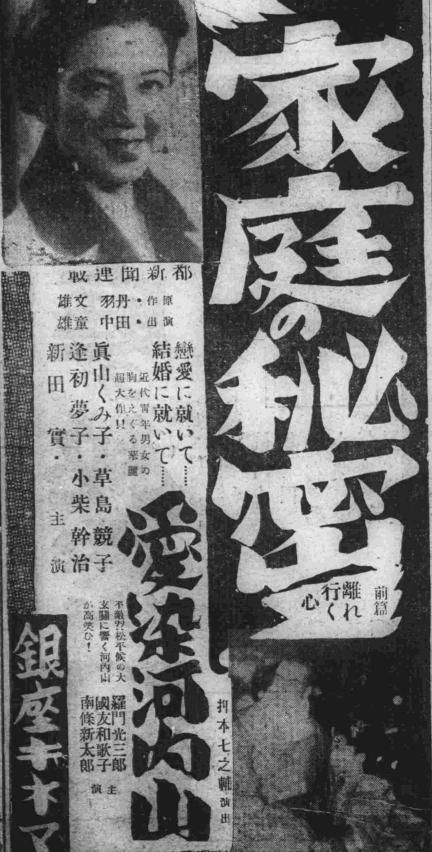
高島易斷所 其病姓家相適運 他氣名相性業勢

高島の活断で 高島の活断で そ千金の價値!!!

0

六= 時ユー 條通銀座新 河 シンキ n 3 人ロコロンウ

藝能祭コンク 員 滿 川學多活日 禮御 (賞金 ル第 巨 篇 巨一篇位













目科業營

食 料酒煙 料 水 品 飲草

文化的に密接なる關係がある諸民族が共存共榮の別係を すると共に他の分野との間にも共存共榮の関係を樹立 するととが最も自然的順序 であらことが最も自然的順序 であらことが最も自然的順序 であらとが最も自然的順序

果匹を紊すも

送放相外

容內說演

如何を開はず否認せんとす をのであるが、この際さら たのであるが、この際さら たのであるが、この際さら たのであるが、この際さら にその猛省を促すとともに をのであるが、この際さら による現状の打開を理由の による現状の打開を理由の による現状の打開を理由の

裡に長江渡河の計畫を進め」鹽局附近に集結、午前二時職區の腹背を錮くべく暗々 商埠土東南部の宜昌縣政府確保後第五戰區より敵第九 部隊は廿九日午前一時宜昌 にあ廿九日遼國通】宜昌 てゐた北村、伊織、江平各

大なる闘

(-)

一名設置理由としては次 一名設置理由としては次 一名の北端に位し、講演図 日本情を中心とする新設 日本情を中心とする新設 日本情を中心とする新設 日本情を中心とする新設

政上の理由済的中心地率天の中原地である如く外蒙よりする外では関防上よりで見れるの場合は関防上よりであれたる如く外蒙よりする外では関防上より見れるので見れるのでは、呼吸防止となり、呼吸が上れる外では、

に石見外見夏地

政上

る率天、吉林兩省境に警 一、行政上の理由=率天省 が北市二十三監督の監が著 を表が、四平街を中心と を記しまする。 をこしまする。 をこしまる。 をこしる。 をこしる。 をこしる。 をこしる。 をこしる。 をこしる。 をこしる。 をこしる。

【モスクワサ九日發國通】 列聯政府は廿九日早贈タス 通信社を通じソ聯軍はルー 完了した旨左の如く發表し た

ては

一斉に関境各地で入日午後二時

外框中外

じ車

毅然たる皇道外交宣

越柱鐵路完全に遮斷

を占領し附近の敗敵を掃蕩中で悪天候と蒸し暑さを冒して猛進鐵路による援蔣ルートをこゝにを急退、佛玄國境の原働 浜南鷸

閣(境要衝)を占領

橋ぎなき根本方針を中外に宣明せるもので東亜自主宣言ともいふべき重大 がら数然として不變不精大乗的見地より自主獨往に邁進すべき皇道外交の がら数然として不變不精大乗的見地より自主獨往に邁進すべき皇道外交の

【寫眞は有田外相】

朝 手山 【頁二十刊多朝紙本】 對理 定率

殷 金齿氨纸 f 图 图 行 Br 特替那一 AAA

(7 A)

宮御殿にかり

皇帝陛下、秩父皇帝陛下、秩父 「東京發國連」 國洲國皇帝 「東京發國連」 國洲國皇帝

皇太后此

御催

に臨ませられ、皇太后陛下にに臨ませられ、十九日は始めて赤坂離 宮に打寛がせられ、午後は宮に打寛がせられ、午後は 宮に打寛がせられ、午後は 宮に打寛がせられ、午後は 京に打覧がせられ、中後は 中日を御團樂一入機や うちに御交驪遊ぼされ 京御訪問の砌り時間が 短くて洵に名殘り惜し だなと仰せられたので じたと仰せられたので になる優り惜したので

るものがあるが、帝國は過過である。かくの理論を有するのであるが、帝國は過過である。以来である。 一て共存の関係にほかならないのである。 である、東亜の活人劍を振ひにほかならない。 である、東亜の活人劍を振ひにはかならない。 である、東亜の活人劍を振ひにはかならない。 である、東亜の諸國清的にもを振びに立って實 をとを対避するのであるが、帝國は過じである。かくの場所に立っ一分回 に公正なる。かくのは、本の関係に立っ一括し である。かくのは、本の関係に立るが、帝國は過じて必要がある。 である。かくのは、本の関係に立るが、帝國は過じて必要があるが、一括して必要があるが、一括して必要があるが、一方ののである。

あることも言明して置くのである しのする

河内に向け出強した。 一西 原 少将 一位 原東 十九日 愛國通 に 安着、少憩の後 監視負 西原 少將 一行 医東 中九日 愛國通 通行 直乗は伊に行九印

角と見られる閉拓總局長の一洲國開拓事業推灌鼎座の一

任となつてゐるが、開拓總 局長は更に義勇軍訓練本部 においても開拓國策の重要 においても開拓國策の重要 においても開拓國策の重要 においても開拓國策の重要 「長稻垣征夫氏に總局長就

中に競分を見る選びとなっ一所此の程拓務省並に同氏の

稻垣事務局長起用

•

に御在學中の照宮線には十 に御成り皇太后陛下の御許 に御成り皇太后陛下の御許 に御が見中の新洲四皇帝陛 に御訪問中の新洲四皇帝陛 照宮樣御對面

事の御思出も新たに初夏の事の御思出も新たに初夏の事の御思出も新たに初夏の半日を過させられ皇帝陛下には御名襲りを惜まれつ」 皇太后陛下、御直宮様方の皇太后陛下、御直宮様方の祖野厚い御歌待に御禮の御告別を挨拶と共に最後の御告別を放びして大宮御所を辭せられた、かくてこの夜は御がいる。

は東京愛國祖 関西御旅行れた伏見軍令部總長宮敷下れた伏見軍令部總長宮敷下には廿九日午前九時赤坂雕下宮に成らせられ、皇帝陛下宮に成らせられ、皇帝陛下西水野の御疾拶ののち御退

兩宮殿下御訪問

せしめられた

所在所に対析の可能を

新移時 英氏 発明 英氏 慶空襲 陸海空軍協力 本日曜は 常選映畵! 新 時一十前午

部

とり北部プログイ ・ボッチン、 ・ボッチン、 ・ボッチン、 ・ボッチン、 ・ボッチン、 ・ボッチン、 ・ボッチン、 ・ボッチン、 ・ボッチン、 ネロウ故化進ナ "ツく兵をよ 保護領 ア進駐完了 化

聯政府 要求

放放は (機然東南歐各國にも が十八日ルーマニア各紙は ツ糖政府はハンガリー エコスロヴェア地方 (福子 ライナ東部) したファルカーに ツップリーに ツップリーに ツップリーに ツップリーに ツップリーに フェンスログリーに フェンスのが フェンなの フェンスのが フェンスのが フェンスのが フェンスのが フェンスのが フェンスのが フェンスのが フェンなの フェンスのが フェンスのが フェンスのが フェンスのが フェンスのが フェンなの フェンなの フェンなの

(ブタベスト二十八日強國 通) ソ聯のルーマニアを続る各 図の關係は極めて複雑を告 げるに至つたが右精勢に鑑 ハ日午後ペンガリー政府當局は廿 スペンガリー政府當局は廿

洪軍に進駐命令 センセイシ シを

十九日來京サクラホテ へ事往來

を ソ軍、協定線侵入 (ニューヨークサ八日強國) ブカレストよりの情報 | 近代した赤軍は割譲収極め | に定められた展界を越えさ | に定められた展界を越えさ | にをめられた展界を越えさ | にっまイにもで入したといは | れ、右報道にを得したルー |

る 労艇により 一齊に 渡河を田 (繁)各部隊の精鋭が環

且昌の對岸に日章旗 【上海廿九日發國通】上海 ・ 共同租界では最近テロ事件 が續出してゐるが、またも ・ 交化方面に活躍中の親日 ・ 大の衝撃を興へてゐる 大の衝撃を興へてゐる 大の衝撃を興へてゐる 大の衝撃を興へてゐる 大の衝撃を関へてゐる 、またも ・ 後程時頃共同租界の中華 日報を出で間もなく龍州 日報を出で間もなく龍州 日報で浴びで即死した

聯兵越境

藝能祭コンクー ル第一位 村 田 一學上映中 部

航空部

拓事業

0

正を行ふ必要な して開新事業の 力、客觀情勢の なのいて左っ が、客観情勢の

0

蠶糸業

| 華中暦糸株式會社

不可能だと云ふ一般 日の狀況に迄開拓事業 根行した先覺者の努力に 限行した先覺者の努力に なばず乍ら微力を致し が大重點主義に改革を致し自分も が、公社の内容は五月一日 で、公社の内容は五月一日 で、公社の内容は五月一日 で、公社の内容は五月一日 を選択し、大學者の努力に を登れる開拓事業を を受ける。 を受ける。 で、公社の内容は五月一日 で、公社の内容は五月一日 で、公社の内容は五月一日 で、公社の内容は五月一日 で、公社の内容は五月一日 で、公社の内容は五月一日 で、公社の内容は五月一日

二宮新滿拓總裁談 今後 日支

をか開拓團訓練所建設の をか開拓團の為語である で地があるといいである で地があるといいである で地があるといいである ではそれぞれ當該部 では、の関係者から報告を語 が開拓團の内容渡瀬及入 の関係者とも針京し日 の関係者とも対象を を対象とも対象を を対象を をがる。 をが。 をがる。 をがる。

一千萬圓、日支合併)の統 制圏外に於て處理ざれるも のが基だ多いので頭痛の極 子となつてゐる 出生線は總數量六萬八千擔 本其の約七割と云ふものは 薬中調系以外の自由出荷に 展して居る有様で、故にも 英米資本の根攝い勢力が看 この情勢は益す之が増産と

強大整備についてはかねて 造政策の躍進、農産物大増 産計畫に即應し満洲農業の 技術的實践指導部門を擔當 する國立農事試驗場機構の 金 分野は置食される形勢にあるに對し支那糸の機な下級品のであって其の供給を助した。 一 こと」なるのであって事實を表述の社会であって事實を表述の批音消費高は激減をする。 一 こと」なるのであって事實を表述のする。 一 こと」なるのであって事實を表述の批音消費高は激減をする。 一 こと」なるのであって事實を表述の計算

を持たせると共に從來兎角 學究的に偏向せるを改め質 學究的に偏向せるを改め質

實踐指導本位 来月二日興農部を中心に審議 の一致を見るに至っ の一致を見るに至っ 一つたので 一つたので になった

おがため 現在 の満洲合板して統側組合たらしめるべく過数來經經濟部當局の指示によりその準備を進めつっまったが、近く別項の如く輸入並に配給統制組合と

配給價格は組合協定價格を でく統制業者の指定を受ける事となつたなほ輸入並に を事となったなほ輸入並に を事となったなほ輸入がに基

第屈化の状態に立至つてゐる、仍つて政府はこれが輸 人量の國內確保を圖ると同 時に需給を調整して價格の 島騰を抑制する必要上べニ ヤ板輸入統制機構を整面す

製織トセ薪木特線石 品及 メ 鐵 ン炭材産石炭

メン炭材産石炭

計畫を策定し

砂麥生生 野 糖粉果菜

正学力針 (ラハン村: 雑木の ベニャ板 (ラハン村: 雑木の がニャ板 (ラハン村: 雑木の 下部機構たる地區別販資 和合の結成並にその運營方で 動の骨子は大體左の通りである

△右處分 三、C八八 △右處分 二、法定積立金 二二〇 一、前年度繰越金 一、〇二五 三、〇八八

回 園) 一、昭和十四年度利益金 二、○六二 中銀帳兄 二十七日 中銀帳死左の如し(單位 新幣 六三〇、〇一〇 籌貨幣 六三〇、〇一〇 三七、四五九 二九四、九三四

加に對し特末材五九バト、礦石二

【セスクワー六日發園通】 職等危機の骨大に備へ生産 施満會は紫働時間の更改を 最高委員會は十六日發園通 最高委員會は十六日發園通 一別五日等働明日の更改を 一別五日等働明十六日後東 一日林養制を接出し六 日常大に備へ生産 一日本養制を接出し六 日本養制を接出し六 日本養制を接出し六

介 三、「大二 M、大社の M、 週六日に復歸

トの増加を トの増加を トの増加を トの増加を

聯の勞動制

総會

野内會の役員等の日常の 野力、率性に對してわれた あるのである。今日では 単に近隣相連絡し相裏して むための仕事の外に、生 で施えてかるのである。今日では で施えてかるのである。 に殖えてかるのである。 に殖えてかるのである。 に殖えてかるのである。 に殖えてかるのである。 に確えてかるのである。 に確えてかるのである。 に確えてかるのである。 として率仕を設けて けてるる。それに對して 付らかの適切なわれらの がままする方法が な地位にかか。質目新花の相當 な地位にかた人で、さら に 人があつた。後進に道を は 人があつた。後進に道を とがその人によつて述べ で られてゐたと記憶するが に とも傳へてゐるのである た ともの分とは官吏で が しかしその殆どは官吏で る あり軍人であり或ひは特

う うな人々である。だが實 を 住み、そして此處でのわ た 際にこの國に長い年月を を 住み、そして此處でのわ た これらの共同生活のために 、 本仕貢献した澤山の人々 本 本仕貢献した澤山の人々 本り廣くなつてある なり廣くなつてかるのである。新しい體制でのわ ある。新しい體制でのわ ある。新しい體制でのわ

滿石獨自にやらすか、それとも滿石が現物出資の形をとり新會社を設立し、これに根サク、採油の兩者を行はせるかの問題に止らず礼香語のみの問題に止らず礼香語のみの問題に止らず礼香語のみの問題に止らずれ香語であからしたがあるも決定するものとして各方面より多大の注目を をした新會社設立は一時沙とした新會社設立は一時沙とした新會社設立は一時沙とした新會社設立は一時沙とした新會社設立は一時沙水山みとなり、今後の事業形態としては當分の間從來形態としては當分の間從來 勘を置くべきであるとの要 的に探油を焦らず試錐に重 並に關係方面では此の際徒 集めてゐたが、東崗營子に 作る出油は現在のところ では未だ積極的にくみ採る までの量には達してをらず までの量には達してをらず までの量には先づ徹底的 果を なばるためには先づ徹底的 滿石獨自にやらすか、それ 阜新油田の開發を今後とも 者を新京に招致し民間側の 者を新京に招致し民間側の を選出 政府は日圓資金調達不圓滑に調聯して闘東州向は現在に關聯して闘東州向は現在に関し或る程度の 州経由の對日送金を行ふも 例でも滿洲図と同一步制を とることを希望し目下これ 關 滿石で鑛業部擴充 重 社に對日資金受拂制限が實施 まれ、ばその營業上多大の まれ、ばその營業上多大の 中で相當強硬な反對態度を 日下の情勢では関東州向送 金を自由に放任して置きな 一部で今後関東州の送 金を自由に放任して置きな ので今後関東州と満洲國と ので今後関東州と満洲國と ので今後関東州と満洲國と 協力を求め 送金調整 を置 思 本つてあるが何れにせよ 本つてあるが何れにせよ 本のてあるが何れにせよ 本のであるが何れにせよ 本のであるが何れにせま 本のであるがのであるが何れにせま 本のであるが何れにせま 本のであるがのである。

は 下に置かれ、從來の無競争のと見られ代理店、手數料率についても一定の規格が決定される管で、此の手數 開を採用二割見當に落着く ものと強想されてゐる なに張代される反面、米佛等 で、此の手數 に强化される反面、米佛等 ないなきに至るものと違されてゐる に現化される反面、米佛等 ないれてゐる

ニヤ

板の

品目別によるとこれでは依然五三パーセント、 変は依然五三パーセント、 産は依然五三パー では、 変滅である 東に食料雑貨にな 変及び生果が増発 であるほか姿粉、 のるほか姿粉、 のるほか変粉、 のるるほか変粉、 のるる。

に減少とな 砂糖、酒類

統制組合組織

作成せしめ新制物價物資統 制法第六十八條に基づく政 所の公認を與へる方針であ る

右の如く石炭、木材等割安 理賃貨物の増加にも拘らず 時産雑貨類の減少で満鐵貨 物收入は六月に入つても依 然前年に比して減收の傾向 にあるものと見られる

物収入は六月に入っ 然前年に比して減い 然前年に比して減い 六月中旬輸送實質力 六月中旬輸送實質力

上の如し

深度と関東州とは事實上離立してあるので對日資金間 立してあるので對日資金間 題についても臨時為替局に よる對第三回為替並に貿易 統制に見るが如き漸闢一元 化が不可避の状態と見られ るに至つた 麻栽培状況

滿鐵

の貨物輸送

め區洩省

六月中旬も旧盛

を定行別域ををといる を正測所域以下をできる。 を正測所は出行の場合を がある各種に があるのが、 がなるのが、 があるのが、 がっなが、 があるが、 があるが、 があるが、 がなが、 がっなが、 はっなが、 はっなが、 がっなが、 はっなが、 はっなが

大年度縹越金二、八七八

®お# ●夏向 の ●食欲を増す力 ●発養本位のお惣菜 ◎夏の野並 菜や果物で作なの飲物 と美味しい佃煮煙すカレー料理 木の味覺料

適に治療します! 連動に 激変して を表すず、速かに を表がら、薬効が を治し快

產婦人科 花柳病科 港③ 五七〇九





h

あ

n 買 つて I のの験からいます

車事行動をした獨逸と指して、白蘭北伊に指して、白蘭北伊になるれだけであれだけのエー方面の經

广説解事時=

英

帝

0

團

如

何

(=+4

経夏ものとして第一に推したいのは何んといつても上れいのは何んといつても上右に古くから護はれるほどあつて宮古島で産する銘柄あつて宮古島で産する銘柄として第一に推したいり気品といります。

ものに

新新な意匠がみられます。 物を歩いてもまづ女性の限を惹くのは鬼服もの……ウインドといるのについて満洲生必會社表料課秋田彦三郎氏に訊いて見ました。 第一に推し 計に出るものはありません 白絣の能登上布が値段も手続一に推し 計に出るものはありません 白絣の能登上布が値段も手はれるほど 高級品中の高級品で大衆か ます。明石上布は新潟縣十はれるほど 高級品中の高級品で大衆か ます。明石上布は新潟縣十はれるほど 高級品中の高級品で大衆か ます。明石上布は新潟縣十つです、着 しては婦人も に計 縮ひ心 はば かってす、着 しては婦人も に計 縮ひ心 はば かっち のなら明石上布、男物では ました 白緋の能登上布が値段も手 国で着心地もサラリと京し を含なので断然人気があり ます「明石上布は新潟縣十 日町を中産地とし近年は防 を 縮加工が施るがた昔のやち も に計 縮ひむでは他のやち

が翅が生えて飛ぶといっ た有様です た有様です た有様です た有様です た有様です た有様です たれるやりですが、五、 へられるやりですが、五、 たいるでもですが、五、

影をひそめて優美な網絡編れたものが明石についでよりです、京晃服中でもいたものが明石についでよい。 だたものが明石についでよい た行きに歌ばれてるますが

で出来る上布系統の縞のう で出来る上布系統の縞のう で出来る上布系統の縞のう てのよう

が多いやう高級品に、 生められる

ぶ上に考慮すべきでせら とは比較的染色が丈夫で をよくありません、 新戸、グリーンの濃色が では比較的染色が丈夫で で、又染ものに較べると をは比較的染色が丈夫で なめ悪い事も臭服物を選 ができると

强烈な配色が消え 三十圓前後の銘仙に 盛夏吳服

京 吳 最近いよいよ

色は 當強烈な配色 り類れな配色が涼し気であり類れな配色が涼し気であり、夏は矢張りも昨今の染料の不 とが原因して白地にあつさ たものや、 変し原であ 京し原であ であ の発料の不 温烈な配色をあたり相

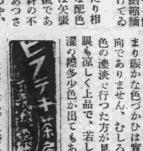
湿の際多少色が出てもあま



分ないものです、能登上布 を織の八、九側程度のでも 夕凉み位には結構着られま

だットもぬひとり式の高級 だットもぬひとり式の高級 が段々進出して來たやう です 銘仙程度の婦人ものでは 八王子、米澤、狭父、足 八王子、米澤、秋父、足

日の神 はのかりません、むしろ軍 色の濃淡で行つた方が見る 色の濃淡で行つた方が見る でましく上品で、若し洗



・よく で見掛けるのですが五つ六つの坊ちやんを連れたお母さんが玩具部の前で子供にせんが玩具部の前で子供にせんが玩具部の前で子供にせんが元具部の前で子供にせんが元具部の前で子供にせんがまれて困つてゐる やア

っこの次に買せら」「今度お父様に買せら」「今度お父様に買ってあり立いたり立いたりとしなが死具にしがなったりしておりますを取りますのが良く

間

(日曜日)

の切の意 別の 保存法 明の 製には肉眼では見えませんが小さな穴が澤山あっ し内部で繁殖して成分を分 原し腐敗しますから卵を保 を分がして成分を分 態度の教育的でないことは 中すまでもありませんが、 たれるやうに育てたといふ 所に根本的な教育の缺陷か の日本人は警

夢生や中等學生に不似合な でのます、子供達を見ても でのます、子供達を見ても るほどの玩具、 るほどの玩具、 くることが必要です それには十パーセントの 食鹽水につけるか、ワゼ リン、バラフインを強つ したです、何れにところに保存し は冷たいところに保存し は冷たいところに保存し です。何れになるの中に なったいところに保存し です。何れになるの中に す、子供が大へん欲求、幼兒たちにはあり絵との玩具が興へられてどの玩具が興へられて し夏方に石つゼの

からいふ家庭に育ち不足といるものを知らずに人といるものを知らずに人となる子供は果して幸福でせらか?子供は現實主が、しかし、一般信するものをといるをとによって待つことを要ぶのです。そして遠大な目が、後に目的に達するものです。そして遠大な目が、といことによって待つことが、他の満足感やよろこびが他のです。そして遠大な目

を ならないので、外出中は が表しなけれ がならないので、外出中は が表しなけれ がならないので、外出中は がならないので、外出中は がならないので、外出中は がならないので、外出中は 大切 大切 なことは光線 なことは光線 ない 白すがら鏡の前できれいできれいできれいできれいできれいできれいできないという が白でまとにさ線

物を置きます、か

横んだ人の中にも「子供に だけは自分の嘗めたやうな 苦勢や不自由を知らせ度く ない」と不足といふものを 知らさぬ方針を採つてゐる 子供の愛に溺れ、金や眼 しようとすること、して 恵角斯ういふ風に子供の 恵角斯ういふ風に子供の 地北いと思ふと、 して と思ふと、 して して ですること、 して 貧窮 て互萬の富を 生活ほど不幸なものはありますまい、自分の手足どにろか殆んど意欲をも働かせる機會も無くして育つた子で銀へられてゐない自分の力の弱さに泣き、或はその境遇から逃れられなくて窒息的な苦しみをする悲劇はないことです 0

不足を知らぬ人間には他 大に動する同情も感謝の たに動する同情も感謝の かあってこそ忍耐や克己 時の質の満足感や感謝や です ですとならば、 に育て上げやうとならば、 に育て上げやうとならば、 の手足を働かせること、又 も子供には出來るだけ自分 の手足を働かせること、又 恐れてはなりません。不足 り除るほどの家庭であつて も子供には出來るだけ自分 の手足を働かせること、又 恐れてはなりません。

(蹲叮速迅)

出るとムラがあ

を取替へて仕掛けます、 ・ と取替へて仕掛けます、 ・ 書も夜かけつ放しはいけま を と取替へで仕掛けます、 ・ 書も夜かけつ放しはいけま を がたチンコ式のものなど尻 がらバチンコ式のものなど尻

何の不足も知らず整澤の中に育つた子供達が、大きくなつてどんなに不幸であるかを、眞に思つてみで下さい・現在子供に與へる滿足に決して子供の為のものでなく、それは唯、御兩親、あなたがたの滿足にすぎないのです

こつちに寄り或っ 一隅でよくもまあ話の

溜の

お互ひに何や彼

"

ガ

JU

さん

G

するから買つて興へるとか 前の物が古くなつて使へな くなつたからといふのでなしに、未だ使へるのに更に あしいものを買つて興へた り要求もしないものを光廻 りして買興へたりする親が とを學ぶのです

克:

はありぬい

方が安心です、なほ外出先 りで押へ上に粉をはたくか りで押へ上に粉をはたくか の上に粉をおつけになった 白 親鼠に小さな年

あ

Œ

且

の時

トタンのととして、 トタンのととして、 トタンの とり、 リック クットタンやブリキ製の洗鉢、トタンやブリキ製の洗鉢、トタンやブリキ製の洗鉢、

ますと、その場所から錆びたりいたんだりしますから たりいたんだりしますから くこと、元来トタンは鐵板 へ薄く亜鉛を、ブリキは錫板 を鍍金したものですから堅 いものでひどく擦つたりす ると表面の鍍金が剝げおち 其處から鐵心が出て も手荒なことは避ければなりません、使はない時は必 りません、使はない時は必

▼……夏 あるものだと感心する、 はしてゐるが、併し總じ お面のやりな硬い表情で べたお客様を満足さす人が ちそれを活用してサービ はしてゐるが、併し總じ お面のやりな硬い表情で べたお客様を満足さす人が 答へる、もう少し微笑を かない、お互ひに同や彼 答へる、もう少し微笑を かない、お互ひに同や彼 しますと却つて孔を空けーにゴシゴシ擦り取らうと がきかいの 1カ 防寒されることがありません。 1カ 防寒される 2 できる 2

な 「そんな安いものはありな 「そんな安いものはあり 出て客を眼で追ひながら での外だ ▼……大衆を相手とする ではないだらうか日 べきではないだらうか日 できなないだらうか日

リ は眼に除るものがあるのが、大も、サービスガールばかりでなく近頃の小皮 変商人の鼻息の荒さは何處へ行つてもだが、内地ので洗練された女店員の應っては日系の若い女の子達のぶしつけさばたまらりない

このごろの浴衣は半分以上このごろの浴衣は半分以上ってりする程縮みます、仕つくりする程縮みます、仕立て」ある浴衣を買ふ場合は自分の身丈より三四寸長 スフ

少し長めに

煮豆には醤油を使ふのが一 となります、水煮し砂糖煮 となります、水煮し砂糖煮 してから最後に鹽で味をつ してから最後に鹽で味をつ してから最後に鹽で味をつ しも堅くならず老人にも喜

煮豆には鹽を

はするの防まコメそもすいない。

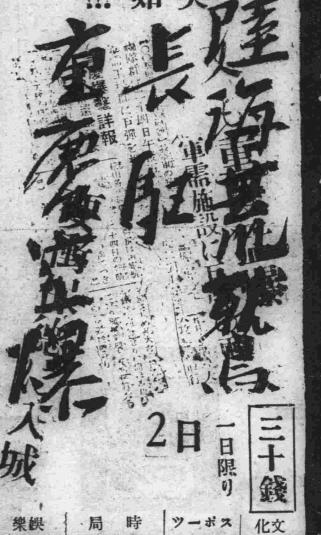
を料も底す錆タッと丁

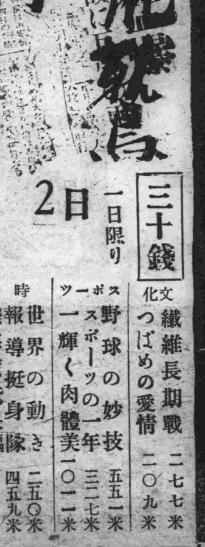
な無でかれまります。 ながかがまった。 なでかりき策なた すけ手取と時と

特漫文 3 2 ス圏化

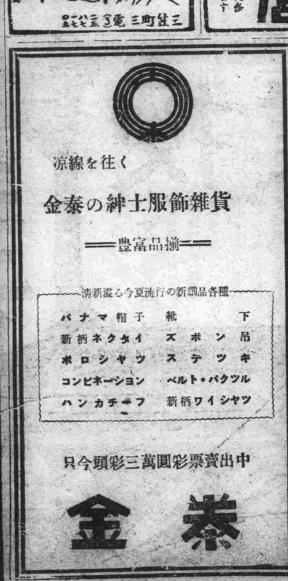
ツキ

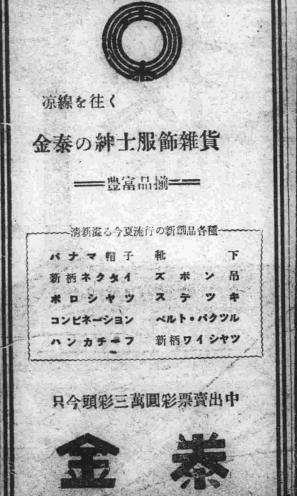
選ニスト











公 <u>は</u> 安 心心 使 7 3 0

開 上同映時

作原

吉昆

三日 み 信子 H 演主 笠井原邦子 邦子 記

ドコ でのダリユウか我々の前に現れます。他明な本學生照知的な近代女性とし 監

ウ R 也 力 陣に進出

5

たり、主上は鑑で詩の心をおせ、 り、主上は鑑で詩の心をおり、後に天皇は隱岐を逃れ給ひる と 快く笑ませ給へり」とある はに天皇は隱岐を逃れ給ひる 山にまします、官軍の捷報 に入らせられた、之によつ に入らせられた、之によつ ある

ラヂオコメ

ひます、御主人は賢明に氣分をかへて奥さんを散歩に 音質をとつて女らしくから 高まずが御主人は登明に氣 を動いますが興さんはさつき 自分が誘ったのに對しては 言質をとつて女らしくから みますが御主人は建國鷺操 の會を理由にとつてうまく にげます、二人の間に甚だ 領まづい沈默がつづきます で風の様ですて縁は異なもの」 ラデオの後才が二人の間に甚だ で低できてその明朗快活な た所へ妹の様子さんがとび こんできてその明朝快活な 大性と若さで華やかにさわ たで風の様にいって行きます。 で風の様にいって行きます。 で風の様にいって行きます。 で風の様にいって行きます。 でのこ人は明朝早く建図。

t

九八八八

はます、御主人はだらしがのがうまいのを知つてゐると 意識を洗ひ終ので濡れた割 た口論になりますが奥さん よ 意識を洗ひ終ので濡れた割 た口論になりますが奥さん よ

ンテナクラ



文樂重鎭の錄音も終

花鑑者の日常生活の研究に襲れ劣らぬ勉強振りにその成果を期待されてゐる【カット絹代のお千賀】人團平に扮する好太郎は三味線の稽古に餘念なくお千賀に扮する田中絹代は大阪鮮の練習、中村芳子柯竹紋十郎等斯界の重鎮を京都南陸に迎へて「浪花女尉中の盛澤山な海るりの錄音を行ふ一方主入公文字太夫、竹本南部太夫竹本織太夫、三味線編澤道八、豐澤廣助、鶴澤重造、人形吉田榮三、古田文特作プロ第一回溝口監督作品一浪花女」は六月十九日撮影開始十八日より二十二日まで大阪文樂座の特件プロ第一回溝口監督作品一浪花女」は六月十九日撮影開始十八日より二十二日まで大阪文樂座の の喜びを他處にして妻女〇と語つたのであつたが、彼く田村の身を心配して神を 取りもつて異れる知己や先 なはて遂に再び田村の許へ 勝ることをこばんだのであ オ



男泣きする喜劇

は した感情のもつ から は は 大気で ない たいで は 大気で ない から と は で ない だけに する と 間 が 数 京 で 暮らして るる と 間 が 最 い だけに する で も あつ た の で る 田 村 邦 男 で も あつ た の で 本 る 田 村 邦 男 で も あつ た の で 本 る 田 村 邦 男 で も あつ た の で 本 る 田 村 邦 男 で も あつ た の で 本 る と 間 が と い だけに する で や つ て 來 る 田 村 邦 男 で も あ つ た の で る と 間 が と い だけに する で も る つ た か ら 言 は せ れ ば 而 し 家 庭 か ら 言 は せ れ ば 而 し 家 庭 か ら 言 は せ れ ば 而 し 家 庭 の 平和 が そ の 全 部 で あ る 日活の時代劇でフ 一一し 田村邦男は妻と 子に出て行かれて初めて自 かの非に身を苛まれたので あつた、脇を絶つ様な悔恨 の夜な夜な風のたよりに愛 別れ去る 田村邦男の変佗 を爆笑させ乍ら樂屋へもど

強に彼は我が子祥子ちゃん 別行、夢に見てゐた新京で 別で、夢に見てゐた新京で

日本へ闘ります、之かれたので、母子を連れたので、母子を連れるので、母子を連れる。

・の映畫館を、市内の中央及び東西の三ケ所に設置し文が東西の三ケ所に設置し文が東西の三ケ所に設置し文が東西の三ケ所に設置し文が東西の三ケ所に設置し文の映畫館を、市内の中央及

◇…退風しのぎに銀座キネマへ入つたら久振りに大毎東日製作の「世界の動き」を見た、あれはニュースとはまた。 これはニュー がなものなりがある。 ※しめるものである。 ※しめるものである。 ※からしたものである。 ないあつて短篇がある時は何かしらと軽いあってがたいものがちよいあって短篇がある時は何かしらと軽いる。

◆…そして更に短篇上映とせずに心ず題名を廣告してほしい、帝都キネマで上映された「友吉と馬」は宮城道雄のったれた詩情體

會中の市會でも論議中で一 それで上映館に望むのであるがもう少し短篇 であるがもう少し短篇 に關心を持つて貰ひたい、特に最近の様にニ ュースが統制されて何 處へ行つても同じもの を見せらる時には短篇 でも添物にある方の館

民

0

中開公下

目

が野として注目されて のたもので、これもう つかりすると見落すと ころであつた

日司

注文 に任せておかず、自ら 選定して宣傳してほし い、文化映 者がらやはり存在する のである、その人々の 為廣告の片隅に組てゐ る廣告の片隅に組てゐ

前賣券は既に大部分を賣り

3 ラデ

一、五九(東京)時報 一、五九(東京)經濟市況 村 二九太 村 二九太 U

る

・、四〇(新京) ・ 四〇(新京) ・ 四〇(一) ・ 四〇(一)

郎。都路繁子 四、浪花 第「千坂兵部」春野百合 子 五、歌謡曲(イ)戦 線さのさくづし(ロ)戦 な星(ハ)吉良の仁吉… 美ち奴(イ)死縁を越え て(ロ)チャイナタンゴ にハ)浪曲ブルース…中

(新京) ラヂオコ 「曇後晴」田邊澄吉 田邊澄吉 藤 穂 押井 本地三(妻)河井

十萬圓突破 ネオン街女性に人氣? 著しい相違を見せてゐる 最近の日活問題は強く内務 くて此の興行は採算上の大はれる興行も成功に確実なり、全國一齊に行はれる興行も成功は確実との大 から學生などのスポーツ愛の関係からであらう、學生など、日によつてはその三とで、日によつてはその三とが、日によつてはその三とれば彼女達がスポーツを表に特別の興味を抱いてるる気にいふよりは、話題の寫眞なるが故に見ようとする結果からしれない、かくて此の興行は採算上の大くて此の興行は採算上の大

せんとしてゐることは注目されてゐる

世んとしてゐることは注目されてゐる

世んとしてゐることは注目されてゐる

世んとしてゐることは注目されてゐる

世んとしてゐることは注目されてゐる

世んとしてゐることは注目されてゐる 季燕芬日本行お流れ - 中滿系大楽間に於ける人氣隨一のスター季燕芬心の的となつてゐるが、今度は新興より滿映スタ 満映スターの日本 映畫出演は東賓映畫に於ける李

ブランでは約千名程度收容 てゐる、同市社會教育局の

日本最初の

般の弱心を集めてゐ 3 【寫眞は季燕芬】

内務省を刺戟

當局を刺戟し はなかが はなかが な協力せず自己の事業の と協力せず自己の事業の なが加へることが必要で でが必要で が必要で この强硬意見まで現れてあ

圓形を行さは上手な洒落 スタア 陣総動員

地から總計六百七十五通の地から總計六百七十五通の地から總計六百七十五通の

長谷川一夫の顔合せ の新企畫

演藝味もある 出來ず周圍の人も手を引いたのであつた ゆくりなく會ひし東の間の喜びに代る淚、いたいけな洋子もやんは彼の妻 女が手許に引き取り新京 で自分の生活を営んで行 くことに定まつた その歸らぬ歎きを胸に秘め その歸らぬ歎きを胸に秘め で珍優田村邦男は淋しく次 の興行地佳木斯へたつて行

「こりや岡案より舞臺に出





大久保彦左衛門に の「吉本五人男」大河内傳金語樓、三龜松、川田義雄

「支那の夜」出演を機に東 養映畫へ專屬スターとして は「上海の花賣娘」と決つ た、演出は齋藤寅大郎監督 のヘッド・アシスタント小 田基義が監督に昇進初のメ

子英日春

純

原三

終川」等契約俳優の活用に 力を注いでゐる東實では更 の大久保彦左衛門、長谷川 の一心太助で初顧合映畫を の一心太助で初顧合映畫を 服部富子初主演 上海の花賣娘

でせい珍素もあつた 本一等(賞金五十圓)古 本一等(賞金五十圓)古 本二等(同卅圓)哈瀾濱 古田耕作 本住作(同演藝招待券) 十二名=(新京五、率天 十二名=(新京五、率天 十二名=(新京五、率天

みさま川森·信利分佐·子弘崎川 てゆく。そして儲びだ朝 供の心に選ぐやさしい大 れてゆく必いの映畫!! 線に六月の薫風の如く觸 年島の子供はボブラの梢 人たちの心と心!かくて のかな無し人々の心の等 生と美しい半島娘とのほ 鮮の片田舎の小學校の 鮮融和の物語、貧しい子 と組んで描く美わしい内 二が朝鮮の第一流スター 半島の 新築地閣園の名優薄田研 綴方教室 笠高三水 光光

封切追る

演共

日活問題

水會展出品

影

近藤

光紀

れるのである。朝

を加へ、

ひ出したやうに兄は腕時 雑談の儘食事を終へると

母さんに

育てて貰つ

たお

もいふ、デッサン、色彩・トーン、マチエール共に整 情され、他に人物の性格にまで立至らうとしてゐる作 まで立至らうとしてゐる作 まで立至らうとしてゐる作 できものがある、カーネー ション、朝顔を描いた作品 も美しい、たゞ海を描いた作品

北島德三

者のリアリストとして さまのがある、カーベきものがある、カーベきものがある、カーベきものがある、カー・カー リョン、朝顔を描いたもの、又山を描いたもの、又山を描いたもの、又山を描いたもの、又山を描いたもの、又山を描いたもの、又山を描いた。

も内地から來たある置家なども、そ の闘闘に際しての 感想に「あれでへ 感想に「あれでへ が湧き だまだまだ がが

凉

事は思つてはゐない」母は はつと驚いた風だつたが、 はつと驚いた風だつたが、 はつとい表情に變り、混

12 ts

る、又豐かた情操を持つたる、又豐かた情操を持つため、又豐かた情操を持つため、工棚をおき形式の中に甘美な色彩と適確な表現とをもつれば所謂(年期を入れた)ゆゑんであることから数つて來る、これは所謂(年期を入れた)ゆゑんであることから数つて來る、これは所謂(年期を入れた)のなきトーン、そして最ももでなきトーン、そして最もななきトーン、そして最もななきトーン、そして最もななきといの作家はある完成され

(日 曜 日)

所地から初めて 新京を見て驚くさ ちである。どこに も大陸の都らしい 特色もなにもなく だんで、そして宿 をして宿 をして宿 をして宿

なのと、おまけにには、大抵の旅行 をれは大體のさらである それは大體この地に住みついてある たい結構なとことがない。先日

この新京では散步 どころかすつかり さらされて仕舞ひ ました……」との

は主文やむを得ない、以上文やむを得ない。

たなくとも、なんくなくとも、なんが満れて来た生活があるとうんざ

話しではない。土

た落ちつきを作品上に漂は 作品が出來不出來なく粒が 揃つてゐるのを見てもこの ことは背ける一水會賞を授

像、少女像、リンゴ、興された鏡の静物、婦

線である。水滸傳に最高的直率的一針見名

物財化的愛は

に秀れてゐるものには物の この作家の質的に又量的 この作家の質的に又量的

術一般にも通じた近れた形式を持ち始

て兄の横に腰を下した。にかへつて、さら訊いた。にかへつて、さら訊いた。

母達の部屋は、僅か八疊 のある豪所が、緑側の端に ついてゐるのみである。私 は、母達の貧しい生活を思

出巴となつて入り飢れた。 としてゐる母と椎薬の額が

「和夫を連れて來た」

を全然関係のない話ばかり と全然関係のない話ばかり してゐた。私は歌り込んだ、といふや を全然関係のない話ばかり してゐた。私は歌り込んだ、といふや を全然関係のない話ばかり してゐた。私は歌り込んだ。 を全然関係のない話ばかり してゐた。

へないで、いつかはつきり と叩きつけてやり度いと思 つてゐた言葉を、それも自 分の今の氣持を裏切つて冷 い路で言ひ切つたのである

民族精神が、今回ウヂ虫の 民族精神が、今回ウヂ虫の 足族精神が、今回ウヂ虫の 足族精神が、今回ウヂ虫の 足族精神が、今回ウヂ虫の を想から愉快に思ふことは を想から愉快に思ふことは を想から愉快に思ふことは を想から に更的無限を有つた人々は を想から愉快に思ふことは を想から に要の所謂聯想的な を想から に要の所謂聯想的な を想から に要の所謂聯想的な を想から に要の所謂聯想的な

3

たかとも思ふったかとも思ふったかとも思いたかとも思いた。

と思い。 を歌ひ盛したバイー の歌の楽起され

人はよく力なき虫は蹴れ

前者は生きて尚轉帳し得 がすと雖も其の前に を生かしては遺さず。 あゝ、この氣機が原説へ あゝ、この氣機が原説へ あゝ、この気機が原説へ ったなら、同じく潰される つたなら、同じく潰される つたなら、同じく潰される す おる蛇に向つては躊躇 落を

レを張ひてゐる。 ルクセンブルクに付ては ルクセンブルクに付ては ルクセンブルクに付ては 一二ヶ月間に六ケ國の王様や 元首が、他國へ逃避し或は 養魔した。ザマはないと云

で、今や世のマジノ戸 世界 であらう。 とは であらう。 とは が勇士で、新聞雑誌の活字 は が勇士で、新聞雑誌の活字 は が勇士で、新聞雑誌の活字 は へてゐないが如く、アチラーにも世人に知られない、無 と しん は へてゐないが如く、アチラーにも世人に知られない、無

美心い夢・森田たま

幸福につ

天野貞祐

次の瞬間に の間

小説―文學―は、管 使史の足らざる部分を であり、 である場合が多

設に、戯曲に彩色響に依つていみじき筆に依つていない。

だけでも、御恩返しをして 洗石に、私もぐつと繋い を思ひ出したのか、静かに 寧ろ自分自身に向つて言った を思ひ出したのか、静かに 寧ろ自分自身に向つて言ったものである。 たものである。 話がぶつんと切

憲等の静物、人形の大作、小品共に、その風景人物よりも多くの美しさを持つである。就中、八號大二點の松を描いた作品は桃色と青とで隈どらまれたじらたんの上でその柔い生毛に包れた水々しい姿を絢爛と輝かしてゐると云ひたい、婦人きてゐると云ひたい、婦人 「女の建設」 「女の建設」 「女の建設」 「女學者」七月號所載。 大げさな題名であるが、中味は 一次の一つではあらう、しかしひどく をつまた踊りの師匠といふやば女みたたりして苦労するのである。 たづ市井小説の一つではあらう、しかしひどく をであらう。 たがはあらう。しかしひどく であいせるであらう。しかしひどく であいせるであらう。 この作者もこんなものを書いて必要はれて来たりする。 ないせるであらう。 この作者もこんなものを書いてるては困つたことであらう、これぢゃ「作家の建設」は出來ね。 この作者もこんなものを書いてるては困つたことであらう、これぢゃ「作家の建設」は出來ね。 (御垣衛土)

洋畫個人展印象記

紀

氏

れてしまつ

支那 る三種 の愛 於

「紅機夢」式のそれであ

或る人が初めて結婚し、 そして別れた、その通信に 彼は彼女に書いてやつた。 「紅樓夢は女子必讀の書で ある、順は細讀し、その中 にある意味を體會すべきで ある」(大意) 題、華貴な用具、奢侈な飲 黄、それらがあつて始めて 黄素の性愛方法を妄想して も不可能である。だが一個 の窮酸が林黛玉式の女を追 つた。

で装塡點綴式である、宮 紅樓夢式とは相反してゐる 樓夢式とは相反してゐる る紅紅

る。彼の妻はそれを不當だと思つた。だが彼は常に彼女が不活潑非風雅であるのを怨んだ。 (雅の字に注意は多くの暗潮が起つた。 實は後が間違つてゐたのである。彼は田は十石に滿たず三百元と小作料が入らなかつた。どうして一人の林黛玉を養へよう。若しも彼の表の多く善く病み、隔氣闢数ひ多く善く病み、隔氣闢 を學ばせようとしたのであ 大追慕の價値を失つて来たこれは近年の事である。 第二種のものとしては潘 金蓮式の性愛を擧げ得る。 この種の性愛は現在商業都 にの種の性愛は「性愛」と この種の性愛は「性愛」と 言ふより「愛性」と言つた 次追慕の價値を失つて来た で、この種の性愛方式は漸 金融工業資本が支那の都

を學ばせようとし

田村泰次郎

強

金子光晴

入リシェエル

☆窓

外(短歌)

… 佐藤佐太郎

わが國最初の女智題

戰

のト

女性

柏

生民

語

月 ☆スポーツ 農 一海へ行く人の為に 心得帖

経濟學米と利潤統制の話源に緊聯職展開る歐洲の決戦 努力と諦め… あ時と 小米に就ての主婦の個は答ふ 東海県軍業に就で 片山 折り 真操保護法の制定 変と罰との間…当 第三千 女性の幸福を競 心しい體驗を通じて…赤城 嶺 對する女性の る改正刑法 # 田重して 旅

旅雁日記頭生子上

窪川稻子 すな学 吹出物ニキビの人 着毒しつ冷毒の人 着毒しつ冷毒の人 病毒と體毒が 經痛關節炎の 液に汚れある。 化症高血壓の人 **氣持よく取れる** 一十日分

記豐

師の言葉

のから易い時局犯罪

がず女性

物語の意楽画・公具吉 を観るるるが、と無と地野の一般のでは、一般のでは とは子 力 何品を問はず 和斯三丁目三番地



女性 信仰と理智に就て、河上微郎 太 陽であった 女 性 風 らいてう 俗

水に躍る女性美山川 主婦部隊 盆男

今昔物語いは、小野村豊 ☆南 部 鐵 瓶(盛岡)金田一京助 時 評

與痛耳鳴便秘の人

性部間部次三 のるしれ、者 津女で関語が

八田川上相松礁遠野龍 六〇〇 新本田松尾井田口谷 〇

掘甲熊田 二 小甲松谷上相野田 二 蛭岡松野相斐甲 婁 部 原均谷非 四 川啓田尾田松本井 二 川野尾本松 5 均

日本·大阪市東淀川區十三 賣元

美亞亞

大阪 新藥

確川上谷上岡田野 六 中遠松上上熊松內原 部 〇 村田尾口田谷本田

武

勝馬

像想

六浦內蛭

一度。

出席、比島體協より明春マ こ 長、未弘理事長以下各理事 で 長、未弘理事長以下各理事 で に 東京發騰通』日本體育協 ニ

マ これを承認、比島遠征を明事 つき協議の結果減場一致で開催される競技大會招待の で開催される競技大會招待の で開催される競技大會招待の いっちいん

年度の最大事業とすること に決定、百名以上の大部騒 の逓備を進めること 3 なつ た

此島

(日曜日)

聯

で第二次募

選手

3

排 球 に

大大学の大学のでは自然頭のである。また學校とそのプレーを楽しみ年ら 様様の自的を達せしむるとそのプレーを楽しみ年ら 様様の身心に及ぼす效果は、大大学のプレーを楽しみ年ら 様様の身心に及ぼす效果は、大大学のプレーを楽しみ年ら 様様の身心に及ぼす效果は、大大学のプレーを楽しみ年ら 様様の身心に及ぼす效果は、大大学のプレーを楽しみ年ら 様様の身心に及ぼす效果は、大大学のプレーを楽しみ年ら 様様の身心に及ぼす效果は、大大学ので見てある。 他はむしろ常然で尚一層今こそ像いもので見てあてそ 後の普及を望みたい、然しの心、その姿には自然頭の このスポーツの特質より一の心、その姿には自然頭の このスポーツの特質より一

質的 闘られるのではないかと思ふ、苦言を呈して排球人の御一考を顕ふして排球人の御一考を顕ふて鎌端曾理事、名古屋籃球協・ 高運事等を歴任して目下新京實験女學校に率職中である

▲七月九日、十日(火、水) 第三回新京水上競技選手 旅代表選手並に全滿都市 京代表選手並に全滿都市 京代表選手並に全滿都市 京代表選手並に全滿都市 京代表選手並に全滿都市

未だ受益

本二回戦 1の勝者對文化 國高、司法部對滿線、2 國高、司法部對滿線、2 國高、司法部對滿線、2 國高、司法部對滿線、2 國高、司法部對滿線、2 國高、司法部對滿線、2

に冠せらる

剤(ムソリン) る拔群の功績と 讚鮮は他の追

九時より記玉公園、関東車 野球大會はけふ三十日午前 野球大會はけふ三十日午前

一 さきに新京水泳部の陣容强 一 化を闘るため選手募集をな では今回さらに左記要項に より水泳選手第二大募集を 行ぶこと 4 なつた 一、資格 日本内地に於て 水泳選手として活躍の經 一、市込 所屬(勤務箇所 及電話番號)氏名、年齢 田身學校、得意の競技種 田身學校、得意の競技種 田身學校、得意の競技種 田身學校、得意の競技種

時別市公署保健科内體育 ・特別市公署保健科内體育 ・本年度に於ける體聯新京 ・本年度に於ける體聯新京 ・本年度に於ける體聯新京 ・本年度に於ける體聯新京 ・本年度に於ける體聯新京 ・本年度に於ける體聯新京



新京 排球選手権大會は 新京男女排球選手権大會は 新京男女排球選手権大會は

性は勿論深

胞、組織等 り極めて早 本療法の原

る抗菌力を

大倉、水上洋行、島羽洋 を加チームは左の如し 日立製作所、大信洋行、 一三井チーム、マッダチー 大倉、水上洋行、線定所、 大倉、水上洋行、線を 大倉、水上洋行、島羽洋 大倉、水上洋行、島羽洋 部 井田田良 〇田井川啓 本 力を發揮せ に對しても

同服用休止し (之を一クー日三回、五日間連用の 完全に其の撲滅的情 心と化験性疾患 出現せしめ以て表面 疾(急性、慢性)及 期に體内の血液、 しむるにあり 凡ゆる部分に強盛な 合併症一般(淋毒症 卒丸炎、攝護腺炎等) 層部に潜入せる淋漓 子宮附屬器炎、 性子宮頸管加答兒 幽槽膿型 膀胱炎

服內期短法療擊衛

して途に本が りでである。

/公奉:御、て育: 見が吾・



トーバデの器樂絃 **基料**//大 目了四個語京新 三③電

殿にして安全・一メン

良なお乳が出來ます

あなたの愛見をどん

統計の示す犯罪

▲大學中退男三▲大學本 男三 男女七百七十の犯罪別を示 すと

四名、二十歳一二十五歳の二六四名、二十歳一二十五歳

國産の廿キ

朝露ふみ

社會諸相どの關係

に党技・収上口合 高度理事長から感想が述べられ、 より大會の總括的報告、次いで要部に於て開催、まづ村川副迎来更強技大會報告會」は出九用 東の總括的報告、次いで要部に於て開催、まづ村川副迎来 東の總括的報告、次いで 要部に於て開催、まづ村川副迎 東の總括的報告。 大いでの 要部に於て開催、まづ村川副迎 を選挙しるの、一同答案に の過ぎしている。

ぬ遊民の多いことを知る、

多い、さらに年齢別にみる
多い、さらに年齢別にみる

中男二九二、女子男二九二、女子男二九二、女子男二九二、女子男二九二、女子男一九二、女子男一九一、大女四四一十二、女女四四一十二、女四四

の一並に軍閥時代の氣風が拔け をび暴行の順で下流に行く

流に行く

放火一〇 號物故買四二、强盗一二 就火一〇

不 と漸次上に行くほど減少し 犯罪種類も窃盗、賭博、詐 意すべきは十四歳一二十歳 の子供二百名が振つ拂、賭 の子供二百名が振つ拂、賭 を社會施設の擴充と少年保 にないるのを

(日 曜 日)

商店はこの

洋裝品が多い

は大の如く語つてゐる な、果してさらなのか、事 る、果してさらなのか、事

内地ミは反對傾向 は反對傾向

り一年三ヶ月の長きに亘り り一年三ヶ月の長きに亘り 内に跋扈猛威を逞しくする 所に跋扈猛威を逞しくする 瞬間工作験並びに左記二十 氏に對し二十九日午後零時 半より大臣室に於て于大臣 はじめ關係官列席の下に最

四名が來京、午前中は日本列車で朝鮮京城記者團一行

京城記者團來京

本 大使館陽東軍司令部、國務 院、市公署などを歴訪、午 院、市公署などを歴訪、午 院、市公署などを歴訪、午 等前京解設あじあで哈爾濱 に向ふ

撫順縣譽尉補石川忠國三、治安部屬官于會雲

日は實用品が多く奢用な質用品が多く奢

百貨店の窓から見た中元の 贈答品質上状態は消費節約 離制は强く織り出されてあると言ふ、さらに一歩奥に 進んで最近の國都人の貿物 推入で最近の國都人の貿物

な盆前奏曲は國都にもはや 変でられ中元期は訪れた、 この季節に備へて協知會盲 都本部では消費節約、虚禮 後止の大旆を揚げて中元贈 答の断乎酸止を強調パ今年 こそはパとこれが徹底を期 して各方面に呼びかけて來

かります。 してゐたのですが、贈答 品の賣上所は總賣上高の でする贈答の買物は皆無 をは言へないまでも何が、贈答 をは言へないまでも何が、贈答

七月の中元期に入れば幾と行き渡つてゐます、然しからとのには驚いたやらな大第のには驚いたやらな大第のには驚いたやらな大第で必然今年も宣傳は一段で必然今年も宣傳は一段であらうと

あり、また関防婦人會あたりではこの運動の撤底を期して積極的に活躍されてゐる様ですからぐつと減少して時局に即應する自粛情景を擒くことでる自粛性となっている。

討匪の勇士表彰

北満地區に輝く功績

徹底した國策運動

一元贈答が減

百貨店が語る自肅調

新聞通信社 院參 謀 放送協會に御言葉

は想戦の一翼として活躍す 緊密なる協力を望ませられ 光榮を拜した田中中外商業宣傳に關し緊密に協力し、 るとゝもに、更に將來益す ふ御沙汰あらせられたので要執護以來作戦に伴ふ報道 その功績を嘉賞あらせられ に召され有難き御言葉を賜參謀總長宮殿下には今次事 らびに日本放送協會に對し 各社代表者卅五名を大本營參謀總長宮殿下には今次事 らびに日本放送協會に對し 各社代表者卅五名を大本營 弘報宣傳の功を嘉賞

【東京愛國通】皇帝陛下に は世八日午後四時より御旅 全官をはじめ参謀長、同副 会官をはじめ参謀長、同副 を を を が最高顧問に任じた本庄、 変刈、植田、小磯の四大將 三宅、岡村、磯谷、東條、 三年、岡村、磯谷、東條、 三年、岡村、磯谷、東條、 三年、岡村、磯谷、東條、 一本本、佐々木の六中將なら

兀軍司令官に 有難き御言葉 更に一層の率公を誓つ 場はり一同恐懼感激、 場はり一同恐懼感激、

廢物な

が利用し

墨の會を協和會館で開催す も、なほ午後六時からは一

灼

防空

器具作らう

文話會の講演

間工公會でも宣傳工作

武藤元帥を偲ばる になり一時間半にわたつで 建國の昔をしのばせられ種 種御歌談あらせられたが、 種御歌談あらせられたが、 離するばかりであり、特に 暑中休暇を前にして日本内 地へ歸省する者或は内地か ら歸滿する旅行者が激増す るに從ひ案内所を利用する 者も當然に増加するので案 者の所移轉問題を協議の結果 司令官に對し御感いと御深 しく逢つて昔をしのぶこ 菱刈、植田の三大將と親 圏代司令官のうち本庄、 圏では のがこ 臣に賜品

があるので遺失品整理係を 新に設置約五名の係員を設 けて遺失品連絡及び整理に 乗り出す案が大體本極りと なつた

物がますます増加する傾向 三十日午後一時から民生部つた、なほ夏に入つて遺失 て來た滿洲文話會ではけふさせる案を考究する事とな のために各種の事業を行つ 寛店を撤去し案内所を移轉 満洲に於ける藝術文化向上

とが出來で喜ばしいが、 大將は朝鮮にゐて逸へないのが残念である、盛代 の司令官全部が揃つて歡 は一層樂しいであらう と仰せられ有難き御旨には 一同齊しく感涙にむせんだ と洩れ承る (東京優國通) 滿洲國皇帝 下各國務大臣その他重臣、 下各國務大臣その他重臣、 高官等に對し賜品の御沙汰 あり、熈宮内府大臣から同 日それぞれ傳達した、なほ 大久保東京市長に對しても 領紋章入り磁器一對下賜の 御沙汰あらせられた 首相以下各重

康徳七年度第二期新京特別 市防空訓練が來る七月十一 日から三日間に亘つて實施 されるのに備へて廿九日午 前十時から市公署第一會議 室で宣傳打合會を開催 室で宣傳打合會を開催 等代表者廿餘名が出席。 等代表者廿餘名が出席。

實際にふれるため廿九日午 興農の先輩北海道の農事の 世間本され、はるばる 明農の先輩北海道の農事の

て七月一日の興亜素会日 防空宣傳の店頭装飾のほかり をの他の機會を利用。指 包装紙に「洩らすな一般、 導員訓練に努めて完整の 郷土の護り」などの防空標 は対目新しい試みとして 語を刷りこんで平素は紙節 は対用で電燈がよい、たの 語を刷りこんで平素は紙節 は対用で電燈がよい、たの 語を刷りこんで平素は紙節 は天下御免、但し包装紙は 大管制に備へると共にそ は天下御免、但し包装紙は 大管制に備へると共にそ は天下御免、但し包装紙は 大管制に備へると共にそ は天下御免、但し包装紙は かり、 かいばみとして 語を刷りこんで平素は紙節 は天下御免、但し包装紙は と標語熟讀の二を條だけは を加て敷きたくないとジャ を加て敷きたくないとジャ

七月一日の典亜奉公日に首選隊長推載式

勝

手

な

23

6

休業

させ

τ

きます

タリ

Ľ

ヤ

開

店

披露

(U)

爲め三十

H

H

同の下に嚴 正 規律ある團同の下に嚴 正 規律ある團 に就任することになつた代つて竹内德三郎氏が區緣

七月十六日から實施

自筆履歷書持多本人來談

初給六十圓程度年齢を問ず

京商優勝 全滿中等選拔劍道

計正 三十日附夕刊二 市 | 空瓶集めて献金」と題 ・ 記事中金額八十圓五十九 銭とあるは八圓五十九 銭の 製記につき訂正 寄 附 新京草分の一人 関に際し同町會に金百圓を 新聞した

長船

仕事本位の店

電域子会信所に二十キロ短 一般の武器ラデオ放送網の捜 新東亜の空に伸び行く宣傳 くなる、逃避!卑怯なやらくなる、逃避!卑怯なやらなる部屋が欲しい、さうでめる部屋が欲しい、さうで

新京に始めて生れた純ビヤホール

日本橋ビヤホール

アサヒ生ビール直賣所

店 七月一 H

新京日本橋通四二(長春座前角



妻間 六時 芝純 道ロヨ

面會日廿九日(主)卅日(日)

子堂に於て佛式を以て相答み可申候就可太追加告別式は七月一日午後三時より就可太記逝致候に付此段及謹告候、で八時四十七分急性腹膜炎にて八時四十七分急性腹膜炎にて

葮 電 梅 ③ ケ 六三 枝 戶 座敷女中さん募集 各御家庭の製作 す 註 文月は

生北海道視察

0 を 忘 れ 3

十歳より三十歳位、上品素人の方可 月收百五十圓以上保證(多忙に付數名) 正子

屋

一七町四三一三四ノ

辻の紅灸

創業二十年信用を賣る店

症治主

1 (第三火曜) *****休1 (第三火曜) ******休 (第三月曜)・・・・・平常通り營業 (第二月曜)・・・・・平常通り管業

スス ス

サロン

Ħ

◆大衆社交場◆

Ħ

輪

記念公會堂宴 TELS, 2505

花園電(3)3322園會館花園會館花園會館花園會館花園會館花園會館花園會館

ヤファー TEL (3)24

サロン 第1 平衡

8 5

一條通 東二條通り

四七四三(3)編 横出 住 TEL (3) 5715 (3) 3331 ーエフカ大的際國 集募給女

(前座春長)町野吉京街

番一二六五 (3) 話電

東一條通銀座新道入口東一條通銀座新道入口 生ビール

高級カフエ 東 7 定内

古本買入一切の本も貴重な資源

三友社

推譯

背流

中乳 一合八銭 協和 牧 場 解通 電3三七〇1番

ンロサ

告 ヤイド 単四九六二(3)話電

授業年齢、午後、夜間

座

(3)四O八九 館 街 道

排水・下水修語

會

密賓場南人和舊私核其俱

新京大猫病院

ーノ三町笠三 〇三九二(3)電響

和泉町二電3五二二〇

東二條通交番館 吉光堂療院 吉光堂療院

新満商事新満商事 お米と 木炭の

新京市中央通十三 新京東信公所 事結開調查

しの即

用

事タイプ印書 ・本騰寫板 ・本騰寫板 電子 三人四五

不板

建築用材料 を、早速報告け数しませる。 を、早速報告は数しませる。 を、早速報告は数しませる。 を、早速報告は数しませる。 を、早速報告は数しませる。 で、日本のではる。 で、日本のでは 高井公司

印刷發帳簿



電 電話 賣話 話月 話 電 見 門 中田丁三町樂永 前校學小島八 衛七三一三・3 電 賊吸翼 金 融 整月專門 南唐楊電小三七五五五年

何んでも御用盛は **纽**親安便信速切價利用 へ社ヤシンセツメ 九二九三②電

終めんま 東二峰通三九 選近を問は了領地

おなり茶園 茶と

室里公学校前 電③二四八二 旅裝



P B 向 静 極 福 高橋鍼灸科院 中共通、九日一人上放會下 心動動、動情長 電③五八六五





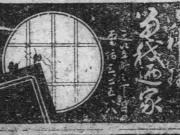


融金及話電質 密越朋長·時即點金 店話電本荻(は方の用御) 前店商石丸街ヤイメニニノー可紹入京街

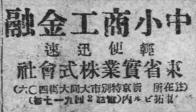














劉語 自6244







